



学校だより

平成23年3月号
目黒区立第十一中学校

早いもので、3月18日の卒業式まで、あとわずかとなりました。3年生の皆さんは今、十一中で過ごした3年間の思い出を一つ一つかみしめていることと思います。3年生は学校のリーダーとして学習、部活動、行事と存分に力を発揮し、十一中の良き伝統を確実に受け継ぎ、1・2年生に伝えてきてくれました。4月からのそれぞれの道での活躍を期待しています。1・2年生は進級にあたり、学習面、生活面での1年間の締めくくりをしっかりと、上級生としてのスタートが順調に切れることを願っています。

3月11日に発生した、マグニチュード9.0の東北地方太平洋沖地震は、各地に甚大な被害をもたらしています。学校では余震への警戒、節電等で、学校給食の停止や放課後の活動の制限、部活動での対外試合の自粛などの処置がとられています。生徒の安全確保の面からも、ご理解と、ご協力をお願い致します。

【進路状況報告と傾向】

今年をふりかえって

進路指導主任・3年学年主任 高橋真弓

今年度の進路を振り返ると全都的に公立校への進学希望者が多く、公立を第一希望にしていた生徒にとっては厳しい結果になりました。本校でも公立校を第一希望にしていた生徒が学年の8割あまりいましたが、実際に公立校へ進学できた生徒は6割程度となりました。公立校から送られてくる入試選抜検査の結果を見ると、やはり選抜検査においてしっかりと得点を取れないと「合格」が難しかったことがわかります。この検査の結果は学力選抜でのテストの得点だけでなく、推薦選抜での面接や作文などでの得点も同じだと言えます。また公立校は当日の検査得点だけでなく、普段の学校生活の成果である内申点も選抜の資料となるため、この内申点が不足していると選抜当日の検査の成績だけではなかなか合格ラインへ届くことは難しいという結果も返ってきています。

3年で進路を担当するたびに感じるのですが、進路選択をしていく中で「普段の学校での生活」が非常に大事なことで、特に「普段の授業を大切にしているか」が重要なことだと感じるとともに、公立校を第一志望にするのであれば「学校選び」がとても大切なことだと思います。

公立校を選択するのであれば自分が進学したい公立校を選ぶのか、それとも自分の実力にあった公立校を選ぶのかを、志望校を決めるときによく考える必要があると思います。公立校への受検は推薦選抜・学力選抜とも1校にしかできませんし、今年も第二次募集をした普通科高校は城南地区にはありません。生徒にとっては一生に一度の進路選択になりますが、本人の希望と家庭の希望のほかに客観的な自分の力を分析して進路選択することが最も重要なことであることを改めて感じた1年間でした。

進路状況

		男子	女子	計
国公立高校	普通科	15名	14名	29名
	専門学科		1名	1名
	小計	15名	15名	30名
私立高校	普通科	17名	7名	24名
	専門学科	1名		1名
	小計	18名	7名	25名
高等専門学校		1名		1名
合計		34名	22名	56名

【返信欄】 学校だより 3月号を読みました。 年 組 保護者氏名

今年度の校内生活を振り返って

生活指導主任 松本 彰弘

今年度も大きな事故や事件もなく1年を終えようとしています。十一中生の校内生活はおおむね良好で、落ち着いた生活環境の中で、日々の授業や諸活動に充実した毎日を過ごせたものと思います。7月、12月の三者面談に加え、5月と2月に二者面談を行うなど、今年度は教育相談の機会を増やし、一人一人の生徒理解に努めてまいりましたが、その中で「学校が楽しい」というたくさんの声を聞くことができ、我々も安堵しております。

学校が楽しい理由の一つに部活動を挙げた生徒が目立ちました。部活動には多くの生徒が熱心に取り組んでおり、今年度から運動部では2泊3日の部活動合宿も行いました。その成果は着実に現れており、大会初勝利や区大会上位入賞、さらに都大会出場とめざましい活躍が続いています。文化部もそれぞれの目標に向け、活発に活動を続けています。

体験学習も生徒の学校生活を彩りました。1年生の自然宿泊体験教室は3泊4日となり農業大学校での実習などより多彩な体験内容となりました。2年生は職業体験に加え、今年度より班行動の校外学習を実施し、江戸文化を学ぶというテーマのもと伝統工芸品作りに挑戦しました。3年生は修学旅行で日本の歴史と伝統を感じるとともに、友情を深め、よい思い出を胸に刻みました。他にも多くの体験学習をとおして、生徒が成長し続けた1年だったと思います。

生徒代表による生徒協議会が何ヶ月も話し合い、生徒総会を経て委員会組織の改定を実現させたことは、生徒の自主的な活動をより充実させるためにも大きな出来事だったと思います。新たに設置された生活委員会は、朝のあいさつや点検活動などを通じて、落ち着いた生活環境の維持に努めています。また、生徒会の呼びかけで毎朝30名以上が参加した落ち葉清掃や、300名を超す地域の方々が参加した釣り大会に向けてニジマスを育てるといった活動から、ボランティア意識も育ちました。

生徒生活モットー、「あいさつ・時間・身だしなみ」の達成は完全とは言えませんが、生徒の中にそれを守ろうとする意識は浸透しました。次年度も校内生活がより充実することを目指し、保護者や地域の皆様のご協力をいただきながら、生徒とともに進んでいく所存です。

生徒の活躍

＜バレーボール部＞ 区冬季大会 第3位

- 予選リーグ 対九中 (1-2負) 対四中 (2-0勝) 対桜修館 (2-0勝)
- 決勝リーグ 対桜修館 (2-0勝) 対一中 (0-2敗) 対東山 (1-2敗)

■都学校歯科医師会よい歯の作文 佳作 3年B組 寺澤 有輝子

釣り大会がおこなわれました

3月5日(土)、絶好の釣り日和の中、MEPAT主催の釣り大会が催されました。地域の小学校低学年から大人まで300名以上の参加者があり、賑やかな一日となりました。釣りを初めて経験した人も多数いて、釣れる度に歓声がわき上がり、プールサイドは楽しい雰囲気に満ちていました。ご協力いただきました保護者、地域の方々には心より感謝致します。



行事予定

3月18日(金)	卒業証書授与式	3月26日(土)	春季休業日
3月23日(水)	保護者会	～4月5日(火)	
3月24日(木)	地域清掃	4月6日(水)	始業式
3月25日(金)	修了式	4月7日(木)	入学式